

各 位

会 社 名 株式会社KG情報  
 代 表 者 名 代表取締役社長 益田 武美  
 ( J A S D A Q ・ コード 2408 )  
 問 合 せ 先 岡山県岡山市平田 170-108  
 役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長  
 三上 芳久  
 電 話 086 - 241 - 5522

## 平成 17 年 12 月期中間 ( 連結 ・ 単独 ) 業績予想との差異及び 通期 ( 連結 ・ 単独 ) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年12月期(平成16年12月21日～平成17年12月20日)の業績予想について、平成17年2月1日付当社「平成17年12月期通期連結業績予想に関するお知らせ」及び同日付当社「平成16年12月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 1 . 平成 17 年 12 月期 連結業績予想の修正等

#### ( 1 ) 中間期 ( 平成 16 年 12 月 21 日 ~ 平成 17 年 6 月 20 日 )

( 単位 : 百万円 )

	営 業 収 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 ( A )	2,394	416	216
今回修正 ( B )	2,028	317	160
増減額 ( B - A )	365	98	55
増 減 率	15.3%	23.7%	25.6%

#### ( 2 ) 修正理由

当中間期における情報サービス業界は、求人関連情報及び住宅関連情報における無料情報誌の相次ぐ発行などにより、企業間、メディア間でのシェア獲得競争がさらに激化し、市場環境は大きく変革してまいりました。当社グループも市場ニーズの変化に対応すべく、既に数年前より無料求人情報誌の発行を開始するなどの対応を行っております。当中間期においても、各地域の状況に対応できるよう無料求人誌の新規創刊を含め、各媒体の形態変更や内容変更などの対策を講じましたが、市場の変革が予想を大きく上回る速度で進み、その影響を受けたことにより求人関連情報と住宅関連情報は減収となる見込であります。一方、クーポンインフリーペーパーにつきましては、当中間期は国内での新規創刊はなかったものの、子会社による上海での新規創刊を果たすなど今後の事業展開の準備期間として意義のあるものとなりました。また、既存エリアでの営業収益も全体的に順調に推移し、予想をやや上回る見込みですが、求人関連情報及び住宅関連情報の減収分を補填するところまでには至らず、営業収益は2,028百万円(対前回比365百万円減)となる見込であります。経常利益及び中間純利益につきましては、印刷原価や媒体形態の見直し等による経費の抑制やクーポンインフリーペーパーの営業収益の増加による原価率の低下要因がありますが、比較的利益率の高い求人関連情報及び住宅関連情報の営業収益が低迷したことにより、それぞれ317百万円(対前回比98百万円減)、160百万円(55百万円減)となる見込であります。

#### ( 3 ) 通期 ( 平成 16 年 12 月 21 日 ~ 平成 17 年 12 月 20 日 )

( 単位 : 百万円 )

	営 業 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 ( A )	5,046	1,039	511
今回修正 ( B )	4,307	570	284
増減額 ( B - A )	738	468	226
増 減 率	14.6%	45.1%	44.2%



(4) 修正理由

通期につきましては、引き続きシェア獲得競争は厳しい状況で推移すると予想しております。既存情報誌の発行形態の見直し・エリア拡大、クーポンインフリーペーパーの新規発行や住宅フリーペーパーの創刊、さらにフリーペーパー共同配送事業の拡大などの施策を講じる予定であります。営業収益への実質的な貢献は来期以降となるため、営業収益は、4,307百万円(対前回比738百万円減)と予想しております。経常利益及び当期純利益につきましては、引き続き印刷経費の見直し等による原価率の引き下げに努めてまいりますが、クーポンインフリーペーパーの新規発行に伴う初期投資の増加や中国上海でのクーポンインフリーペーパーに係る事業が当初予想と比較して若干遅れていること及びフリーペーパー共同配送事業の拡大に係る什器の購入等による経費の増加要因により、それぞれ570百万円(対前回比468百万円減)284百万円(対前回比226百万円減)と予想しております。

2. 平成17年12月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成16年12月21日~平成17年6月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,386	463	241
今回修正(B)	2,020	361	204
増減額(B-A)	365	101	36
増減率	15.3%	21.9%	15.1%

(2) 修正理由

営業収益は2,020百万円(対前回比365百万円減)、経常利益は361百万円(対前回比101百万円減)、中間純利益は204百万円(対前回比36百万円減)となる見込であります。

なお、修正理由につきましては、連結業績予想のとおりであります。

(3) 通期(平成16年12月21日~平成17年12月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,000	1,100	572
今回修正(B)	4,272	638	352
増減額(B-A)	727	461	219
増減率	14.5%	42.0%	38.3%

(4) 修正の理由

営業収益は4,272百万円(対前回比727百万円減)、経常利益は638百万円(対前回比461百万円減)、当期純利益は352百万円(対前回比219百万円減)と予想しております。

なお、修正理由につきましては、連結業績予想のとおりであります。

(5) ご参考:前期の実績(平成15年12月21日~平成16年12月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
中間期(12/21~6/20)	2,107	410	212
通期(12/21~12/20)	4,376	911	489

以上

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。